

センターだより

第48号

平成30年3月16日 発行

Aomori Prefectural School Education Center
青森県総合学校教育センター
〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2
☎017-764-1997/FAX017-728-6351

副所長あいさつ

副所長 中嶋 豊

『メダリストたちに学ぶ』

～社会や世界と関わる力、人生を切り拓く力～

今年2月に開催された平昌（ピョンチャン）オリンピックでは、日本のメダル獲得数が、冬季オリンピックとして過去最高になるとともに、様々な競技において10代を含む若い選手たちの活躍に注目が集まりました。演技の出来栄えや記録の更新もさることながら、試合後のインタビューで理路整然と応える若者たちの姿に、世界の舞台上で戦う逞しさと豊かな感性、そして、更なる高みを目指してチャレンジする意欲の高さ、視野の広さを感じたのは私だけでしょうか。これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界と関わり合い、自らの人生を切り拓くために身に付けなければならない資質・能力とは何かを考えさせられる一場面でした。

新学習指導要領では、新しい時代に必要となる資質・能力について、生きて働く知識・技能、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を三つの柱として掲げています。そして、これらを育成するために、各学校がカリキュラム・マネジメントを実践し、育むべき資質・能力を社会と共有しながら、地域社会と連携・協働した教育活動を推進すること、すなわち「社会に開かれた教育課程」を実現することが重要であると述べています。

学校と地域社会の連携については、小・中学校における体験的な学習活動など、人的・物的資源を活用した教育活動がこれまでも盛んに行われてきました。しかしながら、これまでの活動の多くは、ゲストティーチャーに代表されるように学校支援という形であり、学校と地域社会がこれからの子供たちに必要な力を共通認識し、それぞれが持つ機能を組み合わせながら教育を展開していくという、新学習指導要領が求めている教育の在り方とは異なります。

私は、学校と地域の教育資源をコーディネートする仕事に長く携わってきましたが、学校と地域社会の連携・協働による教育活動において

大切なことは、学校が子供たちの教育活動に関する情報を積極的に発信し、地域の教育資源に関する情報をきめ細かく収集することだと考えています。このことにより、子供たちの学びに関する情報が共有され、信頼関係の深まりとともに、地域全体で子供たちを育む機運が醸成されていきます。

昨年12月に開催した当センターの所員研修の中で、北海道教育大学大学院・教育学研究科の姫野完治准教授は、学び続ける教師の特性について「軸足を学校の中に置きつつも、学校の外に様々な情報を収集に行くエネルギーを持っている」と表現しています。また、平成28年12月の中央教育審議会答申では、教育課程や学習指導要領を学校教育を通じて子供たちが学ぶべき内容などの全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」に例え、それぞれの学校が、自校の教育内容や教育課程について「学びの地図」のように分かりやすく情報発信し、地域社会と連携・協働しながら、子供たちに必要な資質・能力を育むことが、次代を切り拓く力を身に付けることにつながると述べています。

グローバル化、情報化の進展等、社会が急速に変化する中であって、本県の子供たちが、平昌オリンピックのメダリストたちが見せてくれた社会や世界と関わる力、自らの人生を切り拓く力を身に付けるためには、私たち教員が新学習指導要領の理念を理解し、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて更なる教育活動の充実に取り組む必要があります。

こうした状況を踏まえ、県総合学校教育センターでは、教員のキャリアステージや職務に応じた研修講座の充実とともに、各学校における教育課題の解決に向けて、学校や先生方をサポートする取組を進めて参ります。今後とも、当センターを積極的にご活用くださるようお願い申し上げます。

（県総合学校教育センター 副所長 中嶋 豊）

新任の主任・主事等、中堅教員等(充実期)の先生方にお薦め!

これからの教育で求められる資質・能力を
 学校全体で育成するための視点に立った研修講座です。
 学校を動かし支えるみなさんのための内容で構成されています。
 各学校から組織的に複数で受講すると、学校活性化の効果を発揮します。

B04

学校組織 マネジメント

研修講座

～協働意欲を高めるプラン
の検討～

講師:兵庫教育大学大学院
教授 浅野 良一 氏

効率的・効果的な校務運営を実現するため、主任同士が抱える課題の解決ができるよう、チームとしての学校の在り方を探り、今後の業務改善の方策を導き出します。組織マネジメントのエッセンスを得ることで、変化に対応した新しい学校づくりへの視野を広げます。

8月27日(月)

B05

カリキュラム・ マネジメント

研修講座

～PDCAサイクルを活性化
させるための分析方法と
活用について～

講師:筑波大学
准教授 根津 朋実 氏

「子どもたちの資質・能力」を育成するために、教育課程全体を通じた組織運営の改善点を考え、具体的に評価し改善するプロセスを体験します。効果的に教育課程のPDCAサイクルを展開するための手立てについて理解を深める内容です。

10月30日(火)

B21

ミドルリーダー

研修講座

<一部推薦>

講師:弘前大学教職大学院
准教授 三戸 延聖 氏

よりよい教育活動を推進するために、学校の組織力を高めるための実践的な内容です。自校の学校課題解決への実践を通じて、受講者の課題解決能力を伸ばし、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を支援します。

前期 8月9日(木)	後期 12月27日(木)
---------------	-----------------

前期 5/28	後期 8/27
------------	------------

学年主任
研修講座
<一部指定>

B08

5/9

生徒指導
主任・主事 研修講座
<一部指定>

B09

6/1

中学校
進路指導担当者
研修講座

B10

新任の方は必ず受講しましょう!

主任・主事・担当者
のための研修講座

前期 5/22	後期 8/27
------------	------------

教務主任
研修講座
<一部指定>

B06

5/24

保健主事
研修講座
<一部指定>

B07

5/30

特別支援教育
コーディネーター
研修講座
<一部指定>

B13

5/31

学校での
食育推進
のための研修講座
<一部指定>

B14

前期 5/23	後期 8/20
------------	------------

校内研修担当者
研修講座

B11

C02

効果的にICTを活用する授業実践講座

<一部推薦>

希望する方も受講できます！

ICT機器を授業にどう
生かしたらいいの…
機材も心配…

ICT機器を使うと学力
が向上するのかしら…

ICT環境は、各校千差万別…でも
あるもので出来る、実態に合わせ
た実践をお薦めしています。



子どもの多様な思考の支えと
なる、効果的な活用場面を学
ぶことができます。

小・中学校はすべての教科！高等学校は数学・音楽・保健体育・
家庭科・農業・工業・商業・情報が対象です。

前期(センター)

5/24・25

ICTの活用場面を取り
入れた指導案を作成
します。

授業実践

(勤務校:希望日)

教科担当指導主事が受
講者の学校へ訪問し、授
業の参観・協議を行いま
す。

後期(センター)

11/2

授業実践の発表とICT
を活用した成果・課題に
ついて協議をします。

C01

「考え、議論する道徳」 の授業づくり 研修講座

10/10(水)~10/11(木)

「特別の教科 道徳」
いよいよ全面実施！

教科化になって
どう変わるの？

「自己を見つめる」
授業は？

「評価」は？

問題解決的な
学習の発問は？

「多面的・多角的に
考える」授業は？

10/10(水)

宇都宮大学大学院 教育学研究科
准教授 **和井内 良樹** 氏

C48

小学校外国語・外国語活動 研修講座

小学校3年生からの英語教育がスタート

新学習指導要領に対応した
外国語・外国語活動の指導法の
理論と実践を学びます！

6/12(火)

2日
講座

6/13(水)

英語の絵本の
読み聞かせ



スモール
トーク

英語の歌

6月13日(水)

文教大学 教育学部
教授 **金森 強** 氏

＜センター土曜開催＞

C17

小学校理科実験
基礎講座

1日
講座

6/30(土)

教科書通りに
やってみたのに、
結果が出ないの
はどうして？



観察・実験は準備が大変！手軽に出来ないものか？

実験で作ったものは
お持ち帰りできます！

観察・実験の結果
は自由に撮影でき
ます！

1時間目 → エネルギー

2時間目 → 粒子

3時間目 → 生命

4時間目 → 地球

これらの活動がたく
さん潜んでいる観察・
実験ができます！

比較する 関連付ける

条件を
制御する 予測する

＜センター土曜開催＞

C29

苦手克服！
小学校実技講座

1日
講座

8/18(土)

音楽、図画工作、
家庭科、体育の
実技教科は苦
手…。



実技教科は教材
研究が追いつかず、
楽しい授業が出来
ない…。

すぐに生かせる内容！日頃の悩みを解消！
2学期からの授業が大変身します！

1時間目 → 音楽

2時間目 → 図画工作

3時間目 → 家庭

4時間目 → 体育

3コマ以上を受講して
「1日講座受講」となり
ます。

空いているコマの時間
帯に、希望する教科の
指導主事に授業の相
談もできます！

C32

「デザインする心」を学ぶ
芸術系教科実践講座

1日
講座

書道

美術

芸術

音楽

芸術を横断する見方・考え方

Keyword

「空間」「描く」「書く」「奏でる」
「動き・身振り(Gesture)としての芸術」
「世界の探索(explore)としての芸術」

6月26日(火)

申込締切
5月29日
お早めに！

講師：アーティスト 鈴木 ヒラク 氏

※中・高・特支の芸術系教科担当者が対象です。

C34

豊かな発想を引き出す！
小学校図工・音楽科講座

指導と評価の一体化

造形遊び

音楽づくり

8/16(木)

2日
講座

8/17(金)

C35

鑑賞の学びを考える！
小学校図工・音楽科講座

資質・能力を育てる

図画工作

鑑賞

音楽

9/4(火)

2日
講座

9/5(水)

C53

産業教育指導者講座

講義・演習「問題解決のプロセスを通して」

講師:たびすけ合同会社西谷 代表 西谷 雷佐 氏

9月13日(水)

内容:本県の地域課題や各産業分野に関する課題を考え、本県の強みや魅力を発見することを通して、その解決に向けたプランを設計します。



実践発表「研究活動・課題研究の指導と工夫」

発表者:県立学校教諭(工業科・家庭科・商業科)

9月14日(金)



視察「青森県産業の現状と展望」

青森市内の施設を視察します。

2日目の午後は現地での研修です。

申込締切
8月16日
お早めに!



D07

今日から始める いじめ対策研修講座

いじめの防止等のための基本的な方針

青森県いじめ防止基本方針

学校いじめ防止基本方針

指導内容のプログラム化

事案対処マニュアル

児童生徒の主体的な取組

本講座では、いじめ防止のために
「学校が実施すべき取組」
を学びます。

8月29日(水)

東京理科大学
教職教育センター
教授 **中村 豊** 氏

D09

今日から始める学級 (HR)集団づくり研修講座

「主体的・対話的で深い学び」の実現
「いじめ・不登校」の未然防止
「学習指導」「生徒指導」の充実
「安全・安心感」がある学校生活 など
→ 学級(HR)経営が重要!

アドラー心理学をベースとした
「学級(HR)集団づくり」
を学びます。

10月4日(木)

文教大学 教育学部
教授 **会沢 信彦** 氏

D14 個別の指導計画・ 教育支援計画研修講座

個別の指導計画、
個別の教育支援計画の作成、
実践、評価、見直しといった
サイクルを学ぶことにより、
個々の実態に応じて適切に
指導する力を高めます！



初めて作る、という方でも大丈夫！

「はじめて
コース」
「経験者
コース」

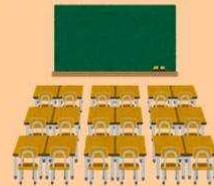


に分かれて作成します！

6月1日(金)

D18 通常の学級のユニバー サルデザイン研修講座

特別な教育的支援を必要とする幼
児児童生徒の支援について学校また
は学級全体で取り組む方法や
考え方をUDの
視点から
学びます！



講義「通常の学級における授業の
ユニバーサルデザイン」

講師 星槎大学大学院 准教授 阿部 利彦 氏

◆ 通常の学級における取り組みの実践発表や演習
も行います。

10月18日(木)

センター土曜開催

1日
講座

6月30日(土)

申込締切
6月1日
お早めに！

ゼロシリーズ 初心者講座

D24

iPad編

ゼロから学ぶ！
タブレット
初心者講座
PC

D25

Windows編

ゼロから学ぶ！
タブレット
初心者講座
PC

D31

ゼロから学ぶ！
表計算初級講座

文字入力・地図・Webの標準
アプリの使い方から、環境
設定の仕方を学びます。

はじめての先生方対象！
今からでも遅くありません。



業務で活用するた
めの技法(関数、表
やグラフの作成、印
刷、並べ替え、抽出)。

D34 学校カウンセリング 研修講座

いじめをはじめとする問題行動や不登
校など生徒指導上の諸課題への対応には、
傾聴・受容・共感といったカウンセリング・
マインドが教職員に不可欠です。でも、
日々の仕事に追われ、時間的な余裕
がない！そんなときは…

本講座では、効率的な問題解決を狙う
「解決志向ブリーフセラピー」
を学びます。

6月4日(月)

東北大学 大学院

教育学研究科・教育学部

准教授 若島 孔文 氏